

2024 年度(令和 6 年度)  
事業計画書及び収支予算書

自 2024 年 3 月 1 日  
至 2025 年 2 月 28 日

公益社団法人 日本金属学会

〒980-8544 仙台市青葉区一番町一丁目 14 番 32 号

TEL 022-223-3685 FAX 022-223-6312

# 目 次

## ■ 2024 年度(令和 6 年度)事業計画書

### I.事業の計画

1. 基本方針 ..... 1
2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第 5 条第 1 号) ..... 2
3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第 5 条第 2 号) ..... 3
4. 学術に関する調査及び研究(定款第 5 条第 3 号) ..... 6
5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第 5 条第 4 号) ..... 9
6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第 5 条第 5 号) .. 11

### II.庶務の計画

1. 特記事項 ..... 11
2. 2024 年度事業に関わる諸会議および諸集会..... 11

## ■ 2024 年度(令和 6 年度)収支予算書

- I. 収支予算書 ..... 13
- II. 収支予算書内訳表..... 16

## ■ 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類 ..... 19

**公益社団法人 日本金属学会**  
**2024年度(令和6年度)事業計画書**  
2024年3月1日から2025年2月28日まで

**I. 事業の計画**

**1. 基本方針**

- ①2024年度は公益社団法人としての12年目の事業年度であり、引き続きセルフガバナンスに基づいて、公益目的事業を公正かつ適切に推進する。
- ②刊行事業については、機関誌3誌の刊行を推進する。会報「まてりあ」においては、金属をはじめとする材料に関して学術的・技術的知見を幅広く得たいときに手軽に読め、かつ研究開発活動の一助となる情報誌であることを目指し、入門講座や講義ノートに加え、実学講座等の記事カテゴリーの一層の充実を図る。また、誌面や記事構成の改定等を推進する。日本金属学会誌は、日本語で書かれた最新知見の発信や高度な専門性のある提案・意見交流・学理追求の場として維持向上を図るために、積極的な投稿勧誘、Materials Transactionsに掲載されたReviewやOverview、特集論文の和訳掲載等を推進する。Materials Transactionsは、日本の代表的な材料系英文論文誌でありつづけるよう、より一層高度化するとともに、インパクトファクターの更なる向上を目指し、特集やReview、Overview、Current Trends in Researchの掲載や査読の厳格化等によって掲載論文の質を向上させる。さらに、質の高い論文が掲載されていることの周知や被引用数の多い論文の著者への認定等の掲載論文引用の促進、掲載論文引用の積極的な要請等の施策を推進する。また、共同刊行における編集の一体化を推進する。
- ③講演会・講習会事業については、with/post コロナ時代に即した事業の形態を検討し、適切かつ効果的なオンライン利用の方策を検討する。最新の研究や技術を発信し、大学・企業・研究所を越えた多様かつ多くの研究者や技術者が集い交流する魅力ある講演大会を目指して、講演大会のプログラムや日程を検討するとともに、魅力ある公募ならびに企画シンポジウムの開催や他学協会との連携企画の拡充等の施策を推進する。基礎から最新の研究や技術までを学べるセミナーやシンポジウムの開催や次世代を担う人材の教育と育成に貢献する教育講座を開催するとともに、高校生・高専生が材料の魅力を理解するための機会を作る。また、会員の活発な交流や材料分野での人材育成をより一層推進する。
- ④調査・研究事業については、国際舞台における我が国の材料科学を先導していくことを目指し、再編した分科の特長を活かす協力体制による活動を推進する。また、研究会、若手研究グループに加えて、分野を超えた取り組みを強化すべき研究課題に対して産・学・官が連携して課題解決に取り組むことを目的とした産学協創研究会の活動を推進するとともに、新たに材料共通の基盤技術・基礎学理の発展を目的とした研究会を創設する。さらに、若手研究者を対象とした研究助成事業の拡充を図る。金属及び関連材料に興味を持つ若い世代を育てることを目指し、学校教育の支援や青少年向けイベントの開催、若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。国際学術交流は、KIM、TMS、IIM等との交流および秋期講演大会における国際シンポジウムの開催を推進する。男女ともに学会で活躍できる環境作りのために男女共同参画事業を行う。
- ⑤表彰・奨励事業については、若手や民間企業の研究者・技術者を含め多様な層への授賞を推進する。
- ⑥学会の活動を広く周知するために、アウトリーチ等の広報活動を推進する。
- ⑦庶務については、引き続き法令等および本会の定めに則り、公正かつ適切に行う。
- ⑧会計については、引き続き最新の公益法人会計基準および公益認定等ガイドライン等に則り、公正かつ適切に行う。

## 2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第5条第1号)

### (1) 日本金属学会会報「まてりあ」

#### ①発行

発行月日：2024年3月から2025年2月までの各月の1日

発行巻号：第63巻3号から第64巻2号までの12冊

発行部数：4900部

掲載頁数：55頁

電子ジャーナル：毎号発行

#### ②巻頭記事(サイエンスライター記事)

- ・第63巻 4号、8号、12号

#### ③特集等

- ・第63巻 7号 特集 「大型放射光施設SPring-8における構造解析技術の最前線」 6編程度
- ・第63巻 9号 特集 「生体組織材料表面の設計」 6編程度
- ・第63巻 11号 特集 「過酷環境下における材料強度と寿命」 6編程度
- ・第64巻 1号 特集 企画 5編程度
- ・第64巻 1、2号 新技術・新製品、特集 6編程度

#### ④特記事項

- ・新企画「What 's 技術士？」の掲載を隔月で開始し、技術士会の金属部門で活躍する方々に活動などを紹介してもらい、会員読者にあらたな啓発を促す。
- ・まてりあを魅力ある会報とするために、実学講座、金属素描・金属なんでもランキング、思い出の教科書、この1冊!、科学館めぐり等の企画の掲載を継続するとともに、オンラインカラー化を推進する。また、講義ノートや入門講座の掲載を充実させる。
- ・年間掲載スケジュールを作成して計画的な編集を行うとともに、紙面の体裁や記事構成の更新を推進する。

### (2) 日本金属学会誌

#### ①発行

発行月日：2024年3月から2025年2月までの偶数月の1日

発行巻号：第88巻3号4号合冊から第89巻1号2号合冊までの6冊

発行部数：290部

掲載頁数：50頁

電子ジャーナル：毎号25日に発行

#### ②特集

- ・第88巻4号 特集「次世代エレクトロニクスのための金属材料の最先端」 5編程度
- ・第88巻4、5号 特集「2023年秋期大会講演精選論文」 3編程度
- ・第88巻9号 特集「超温度場材料創成学」 10編程度
- ・第88巻10、11号 特集「2024年春期大会講演精選論文」 3編程度

#### ③特記事項

- ・掲載論文数の確保が見込めないため、冊子は2号を合冊して偶数月に刊行する。
- ・オーバービー、レビューの投稿勧誘を継続する。
- ・特集紹介論文のカテゴリー「最新の研究動向」の論文を掲載し、引用を促進する。
- ・欧文誌掲載論文の和訳掲載を推進する。
- ・大学院修士課程に所属する学生を対象とした論文の投稿勧誘を継続する。

### (3) Materials Transactions

#### ①発行

発行月日：2024年3月から2025年2月までの各月の1日

発行巻号：Vol. 65 No. 3号からVol. 66 No. 2までの12冊

発行部数：190部

掲載頁数：150頁

電子ジャーナル：毎号25日に発行

## ②特集

- ・Vol. 65 No. 4、5 特集「Selected Papers from JIM Fall Meeting 2023」 2編程度
- ・Vol. 65 No. 9 特集「Materials Science on High-Entropy Alloys II」 15編程度
- ・Vol. 65 No. 10、11 特集「Selected Papers from JIM Spring Meeting 2024」 5編程度

## ③特記事項

- ・インパクトファクター向上を目指した施策を推進する。
- ・特集企画提案を積極的に勧誘し、実施する。
- ・Review、Overviewの投稿勧誘を継続する。
- ・特集を紹介する「Current Trends in Research」カテゴリーの論文掲載や高被引用論文の公開や被引用数の多い論文の著者にTop Cited Paper Certificateを発行することを継続し、引用を促進する。
- ・査読の質を向上させることを目的に、Best Reviewer Certificateを発行する。
- ・著者選択フリーダウンロードサービス（投稿・掲載費用に追加することにより、公開後即フリーアクセスとするサービス）及び引用の見込まれる論文のフリーダウンロードを継続する。
- ・すべての論文のGraphical Abstractを掲載することを継続する。
- ・共同刊行学協会で統一した投稿・査読プロセスを使用するとともに、編集方針の統一化を推進する。

## (4) 学術図書類

### ①理数探求用教材の制作

## 3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第5条第2号)

### (1) 講演大会

#### ①講演大会委員会：4回（2024年3月、5月、9月、11月）

- a. 春秋講演大会の業務執行の協議を行なう。

#### ②講演大会企画委員会：2回（2024年7月、2025年1月）

- a. 講演大会に関する企画および運営の協議を行う。
- b. 春秋講演大会のプログラム編成を行う。
- c. 講演大会活性化施策を推進する。

#### ③春期(第174回)大会

- ・口頭発表：2024年3月13日～15日、東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）
- ・ポスターセッション：2024年3月12日、東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）
- ・高校生・高専生ポスターセッション：2024年3月19日、オンライン
  - a. 大会参加者数：1,000人(予定)
  - b. 講演発表件数：700件(予定)
  - c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション、高校生・高専生ポスターセッション、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演
  - d. 付設行事：付設展示会、ランチョンセミナー、学生キャリアサポートセミナー
  - e. 講演概要集：ダウンロード、2024年2月27日公開予定

#### ④秋期(第175回)大会

- ・口頭発表：2024年9月18日～20日、大阪大学豊中キャンパス(豊中市)
- ・ポスターセッション：2024年9月18日、大阪大学豊中キャンパス(豊中市)
- ・高校生・高専生ポスターセッション：2024年9月、オンライン
  - a. 大会参加者数：1,500人(予定)
  - b. 講演発表件数：1,000件(予定)
  - c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション（高校

生・高専生ポスター含む)、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞  
記念講演、国際シンポジウム

d. 第22回World Materials Day Award展示

e. 付設行事：付設展示会、ランチョンセミナー、学生キャリアサポートセミナー

f. 講演概要集：ダウンロード、2024年9月4日発行予定

## (2) セミナーおよびシンポジウム

①セミナー・シンポジウム委員会：4回（2024年3月、7月、9月、2025年1月）

・オンライン教育講座、セミナーおよびシンポジウムを企画・推進する。

②シンポジウム

・開催予定なし

③セミナー(1件)

「相平衡と相変化の計算科学 — 凝固現象編 —」

④講習会(1件)

「電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用；電池反応から腐食まで」

⑤オンライン教育講座(4件)

1) 電子顕微鏡と格子欠陥の基礎

・開催時期：2024年5月

2) 結晶学の基礎

・開催時期：2024年10月

3) 計算材料科学

・開催時期：2024年11月

4) 構造材料(2) -非鉄材料- チタン、アルミニウム、マグネシウム、銅

・開催時期：2024年12月

\*開催場所は、いずれもオンライン

⑥オンライン教育講座オンデマンド配信(7件)

・2022年、2023年に開催したオンライン教育をオンデマンド配信する。

## (3) 国内学協会共催講演会

・国内他学協会からの依頼により講演会を共催する。

## (4) 国際会議および国際シンポジウム

①第20回金属・合金の強度に関する国際会議(ICSMA20th)

・本会主催で2025年に開催する準備を行う。

②第3回国際シンポジウム

・2024年9月の第175回秋期講演大会の中で、本会主催で開催する。

## (5) 支部講演会および講習会(他学協会等との共催を含む)

①北海道支部

・支部講演大会

春/夏期大会 2024年7月 北海道大学 発表件数：30件 参加予定：80名

秋/冬期大会 2025年1月 室蘭工業大学 発表件数：30件 参加予定：80名

・本多記念講演会 2025年1月 室蘭工業大学 講演：1件 参加予定：80名

・特別講演会/地区特別講演会

第1回 2024年7月 北海道大学 講演1件 参加予定：80名

第2回 2025年1月 室蘭工業大学 講演1件 参加予定：80名

②東北支部

・支部講演大会/

地区(特別)講演会 東北地区 2024年10-12月 秋田大学 発表件数：2件 参加予定：50名

- ・本多記念講演会 2024年7月 東北大学 講演：1件 参加予定：100名
- ・特別講演会／地区特別講演会  
10回程度の開催を予定
- ・講習会／セミナー  
2024年7月 東北大学 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 参加予定：10,000名  
2024年8月 東北大学 夏休み子ども科学キャンパス 参加予定：200名  
2024年10月 東北大学 秋休み子ども科学キャンパス 参加予定：200名

#### ③関東支部

- ・本多記念講演会 : 2024年12月 講演1件 参加予定：15名
- ・特別講演会／地区特別講演会 : 講演・見学会として開催
- ・講習会／セミナー  
第1回 講習会 2024年10月～12月 (全6回)  
開催場所:未定(オンライン) テーマ名:未定 参加予定：50名  
第2回 “これをマスターすれば中級者になれる！” シリーズの講習会  
2024年12月 開催場所:未定 講義及び実習 参加予定：10名

#### ④東海支部

- ・支部講演大会／  
材料フォーラムTOKAI 2024年10月 開催場所：未定  
発表件数：約70件 参加予定：約130名
- ・本多記念講演会 2024年11月 開催場所：未定 講演：2～4件  
参加予定：約100名 (湯川記念講演会との共同開催)
- ・特別講演会／地区特別講演会  
特別講演会 (第1回) 2024年3月 開催場所：未定 講演1件 参加予定：約30名  
特別講演会 (第2回) 2024年10月 (材料フォーラムTOKAIと共同開催)  
開催場所：未定 講演1件 参加予定：約130名  
湯川記念講演会 (第1回) 2024年11月 開催場所：未定 講演：2～4件  
参加予定：約100名 (本多記念講演会との共同開催)  
技術交流フォーラム 2025年1月 開催場所：未定 講演：2～4件  
参加予定：約80名 (学術討論会との共同開催)
- ・談話会  
第1回 開催月：未定 開催場所：未定 講演名：金属材料談話会  
参加予定：約40名  
第2回 開催月：未定 開催場所：未定 講演名：材料プロセッシング談話会  
参加予定：約40名
- ・学術討論会 (東海支部) 2025年1月の予定 開催場所：未定 発表件数：講演2～4件  
参加予定：約80名 (技術交流フォーラムとの共同開催)

#### ⑤北陸信越支部

- ・支部講演大会  
連合講演大会 2024年11月30日 (土) 開催場所：信州大学  
発表件数：150件 参加予定：200名
- ・本多記念講演会 2024年11月30日 (土) 開催場所：信州大学  
講演：1件 参加予定：200名
- ・特別講演会／地区特別講演会  
第1回 2024年7月 開催場所 ANAクラウンプラザホテル富山 講演：2件 参加予定：70名  
第2回 2024年6月 開催場所 金沢大学 講演：1件 参加予定：50名
- ・講習会／セミナー  
第1回 2024年6月 開催場所：長野県工業技術総合センター  
テーマ未定 参加予定：70名  
第2回 2024年12月 開催場所：信州大学 テーマ未定 参加予定：70名

#### ⑥関西支部

- ・本多記念講演会 2024年9月 開催場所 (一財)大阪科学技術センター  
講演：1件 参加予定：30～40名
- ・特別講演会／地区特別講演会  
第1回(湯川記念講演会) 2024年4月 開催場所：(一財)大阪科学技術センター  
講演：1件 参加予定：30～40名  
第2回(湯川記念講演会) 2025年1月 開催場所 山陽特殊製鋼(株)  
講演：1件 参加予定：30～40名
- ・講習会／セミナー  
第1回材料セミナー 2024年10～12月 開催場所：SPring-8  
テーマ名「放射光による組織観察・分析の基礎と応用」 参加予定：15名  
第2回材料セミナー 2024年10～12月 開催場所 (一財)大阪科学技術センター  
テーマ名「材料科学におけるマテリアルズ・インフォマティクスの最近の発展」  
参加予定：40名  
第3回材料セミナー 2024年10～12月 開催場所 (一財)大阪科学技術センター  
テーマ名「技術者のための鉄鋼材料入門」 参加予定：40名

#### ⑦中国四国支部

- ・支部講演大会  
春／夏期大会 2024年8月 徳島大学 発表件数：50件 参加予定：70名
- ・本多記念講演会 2024年3月 岡山市 講演：1件 参加予定：40名  
2024年8月 島根大学 講演：1件 参加予定：80名

#### ⑧九州支部

- ・支部講演大会  
春／夏期大会 2024年 4月 オンライン 発表件数：3件 参加予定：60名  
秋／冬期大会 2024年10月 日本製鉄九州製鉄所 発表件数：3件 参加予定：40名
- ・合同学術講演会 2024年6月 九州大学(筑紫) 発表件数：100件 参加予定：200名
- ・本多記念講演会 2024年10月 日本製鉄九州製鉄所 講演：1件 参加予定：40名

### 4. 学術に関する調査及び研究(定款第5条第3号)

#### (1) 研究会(継続8テーマ)

##### 継続テーマ

研究会番号	研究会名
81	材料機能特性のアーキテクチャー研究会
82	微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング研究会
83	高温材料の変形と破壊研究会
84	ソフト磁性研究会
85	状態図・計算熱力学研究会
86	結晶性材料の結晶配向評価および結晶方位解析技術研究会
87	水素が関わる材料科学の課題共有研究会
88	高温構造用材料の水蒸気酸化に関する基礎科学研究会

#### (2) 産学協創研究会(継続4テーマ)

##### ①継続テーマ

番号	研究会名
1	金属アディティブ・マニファクチュアリング研究会
2	カーボンニュートラル研究会
3	新材料・新機能創製研究会
4	マテリアルズインテグレーション(MI)研究会



### (3) 若手研究グループ(継続2グループ)

#### ①継続グループ

番号	グループ名
8	原子力エネルギー用材料研究グループ
9	非鉄金属材料の水素侵入・水素脆化研究グループ

### (3) 研究助成(金属学会フロンティア研究助成)

- ・案件の募集を行い、採択案件(15件予定)を決定し、助成金を交付する。

### (4) 調査研究委員会

#### ①調査研究委員会：2回(2024年3月、2024年9月)

- ・調査・研究に関する業務執行の協議を行う。
- ・研究会、若手研究グループ、フロンティア研究助成の募集、審査、採択の業務を行う、

#### ②調査研究推進委員会：2回(2024年7月、2025年1月)

- ・調査・研究に関する事業の活性化を推進する。
- ・研究会の審査、採択の業務を行う、

#### ③第1～9分科の活動

- ・各分科での活動を推進する。

### (5) 他の委員会活動

#### ①企画委員会

- ・学会の魅力向上及び会員増加に向けた運営課題の検討と施策を企画・推進する。

#### ②セルフガバナンス委員会

- ・コンプライアンス遵守を推進する。

#### ③長期展望委員会

- ・事務局に係る検討を行なう。

#### ④戦略推進委員会

- ・関連学協会との連携を推進する。

#### ⑤科研費委員会

- ・科学研究費補助金に関する情報収集を継続する。

#### ⑥人材育成委員会

- ・学校教育の支援や青少年向けイベントの開催を推進する。
- ・若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。

#### ⑦男女共同参画委員会

- ・男女共同参画委員会(日本鉄鋼協会と合同)：2024年3月、2024年9月
- ・男女共同参画ランチョンミーティング：2024年3月
- ・女性会員の集い：2024年9月

#### ⑧国際学術交流委員会

- ・TMS、KIM、IOMMMS、ASM International、IIM等の海外学協会・団体との交流事業を推進する。
- ・秋期講演大会において国際シンポジウムを開催する。

### (6) 支部研究会等活動

#### ①東北支部

- ・支部研究発表大会 2024年11月 開催場所：弘前大学 参加予定：100名

#### ②関東支部

- ・研究会／地区研究会  
ヤングメタラジスト研究交流会 2024年11月 開催場所：未定 参加予定：30名

#### ③東海支部

- ・研究会／地区研究会

- 若手材料研究会 2024年11月予定 開催場所：未定 参加予定：約80名
- 若手冶金エンジニア研究会 2024年11月予定 開催場所：未定 参加予定：約80名
- ・ものづくり教育 2024年3月 開催場所：未定 テーマ：未定 参加予定：20名
- ④北陸信越支部
  - ・研究会／地区研究会
    - 材料研究会 第1回 2024年10月 開催場所：富山大学 参加予定：50名
    - 第2回 2025年2月 開催場所：富山大学 参加予定：50名
  - ・フォーラム
    - 材料フォーラム 2024年10月 開催場所：めがね会館 参加予定：50名
    - 材料フォーラム 2025年2月 開催場所：めがね会館 参加予定：50名
- ⑤関西支部
  - ・材料物性工学談話会
    - 第1～2回 2024年5月～2025年2月 開催場所（未定） 参加予定：25～80名
  - ・鉄鋼プロセス研究会
    - 第1～2回 2024年5月～2025年2月 開催場所（未定） 参加予定：25～80名
  - ・マテリアルデザイン研究会
    - 第1～2回 2024年5月～2025年2月 開催場所（未定） 参加予定：25～80名
  - ・関西分析研究会
    - 第1～2回 2024年5月～2025年2月 開催場所（未定） 参加予定：25～80名
  - ・材料化学研究会
    - 第1～2回 2024年5月～2025年2月 開催場所（未定） 参加予定：25～80名
- ⑥中国四国支部
  - ・金属物性研究会 2024年4月～2月 3回 中国四国地区各所 参加予定：約30名
  - ・材質制御研究会 2024年4月～2月 2回 中国四国地区各所 参加予定：約30名
  - ・若手フォーラム 2024年4月～2月 3回 中国四国地区各所 参加予定：約40～名
- ⑦九州支部
  - ・材料科学談話会 2024年3月～2025年2月 3回 九州支部地区各所 参加予定：約30名
  - ・材料プロセス談話会 2024年3月～2025年2月 3回 九州支部地区各所 参加予定：約30名

## (7) 支部見学会活動

- ①関東支部
  - 支部見学会 : 2024年10月 開催場所:未定 参加予定：20名
- ②関西支部
  - ・支部見学会 1回：2025年1月 開催場所：山陽特殊製鋼(株) テーマ（未定）  
参加予定：30～40名
- ③中国四国支部
  - ・2024年8月 島根地区 テーマ未定 参加予定：30名
- ④九州支部
  - ・2024年3月神戸製鋼所長府製造所（アルミ工場） 参加予定：40名
  - ・2025年1-2月 九州地区 参加予定：40名

## (8) 国内学協会連携活動

- ①日本学術会議
  - ・理学・工学系学協会連絡協議会に参加し、情報交換を行う。
  - ・材料連合協議会に参加し、材料系学協会との情報交換を行なう。
- ②日本工学会
  - ・事務研究委員会に参加し、情報を収集する：8回
- ③技術者教育制度認定活動
  - ・JABEE(日本技術者教育認定機構)活動に協力する。

- ④全国大学材料関係教室協議会
  - ・オブザーバー参加する：2回
- ⑤男女共同参画活動
  - ・男女共同参画学協会連絡会活動へ参加する。
  - ・(一社) 日本鉄鋼協会との合同男女共同参画委員会活動を推進する。

### (9) 国際学協会連携活動

- ①IOMMS(International Organization of Materials, Metals & Minerals Societies)
  - ・第22回World Materials Day(2024年11月1日)に合わせて、World Materials Day Award Winnerを授賞する。
- ②大韓金属・材料学会(KIM: The Korean Institute of Metals and Materials)
  - ・2024年春期講演大会へKIM代表を招待する。
  - ・本会代表をKIM年次総会へ派遣する。
  - ・第23回KIM-JIMMシンポジウムを本会共催で2024年10月のKIM秋期講演大会において開催する。
- ③TMS(The Minerals, Metals and Materials Society)
  - ・JIM/TMS Young Leader International Scholar Program交流を推進する。  
2024年3月に本会2024年春期講演大会にTMSからの派遣者1名を受け入れる。  
2024年3月のTMS2024年次大会にJIMM Young Leader1名を派遣する。  
2025年3月のTMS2025年次大会に派遣するJIMM Young Leader1名を決定する。
- ④ASM International
  - ・ASMコンテンツの割引購入を継続するとともに国際シンポジウムへ招待する。
- ⑤IIM (Indian Institute of Metals)
  - ・第3回国際シンポジウムに研究者にIIMから研究者を受け入れる。
  - ・IIM年次大会に研究者を派遣する。

## 5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第5条第4号)

### (1) 名誉員および各種賞授賞者ならびにフェロー等の選考委員会

選考委員会	開催数	備考
名誉員検討委員会	1	
各種賞検討委員会	6	
学会賞選考委員会	1	第70回授賞選考
村上記念賞選考委員会	1	第22回授賞選考
技術賞選考委員会	1	第66回授賞選考
増分量賞選考委員会	1	第31回授賞選考
谷川・ハリス賞選考委員会	1	第64回授賞選考
功績賞選考委員会	1	第83回授賞選考
研究技能功労賞選考委員会	1	第56回授賞選考
村上奨励賞選考委員会	1	第21回授賞選考
奨励賞選考委員会	1	第34回授賞選考
技術開発賞選考委員会	1	第47回授賞選考
金属組織写真賞選考委員会	1	第75回授賞選考
論文賞選考委員会	1	第72回授賞選考
新進論文賞選考委員会	1	第4回授賞選考
まてりあ賞選考委員会	1	第14回授賞選考
優秀ポスター賞選考委員会	2	第42, 43回授賞選考
高校・高専学生ポスター賞選考委員会	2	第11, 12回授賞選考
奨学賞選考委員会	1	第33回授賞選考

特別功労賞選考委員会	1	第3回授賞選考
フェロー選考委員会	1	第8回フェロー選考
他機関の各種学術賞、奨励金等推薦	随時	

## (2) 名誉員推戴

- ①名誉員推戴 2024年3月13日 東京理科大学（東京都葛飾区）

## (3) 各賞贈呈

- ①第69回学会賞 2024年3月13日 東京理科大学（東京都葛飾区）
- ②第21回村上記念賞 2024年9月18日 大阪大学（豊中市）
- ③第65回技術賞 2024年3月13日 東京理科大学（東京都葛飾区）
- ④第30回増本量賞 2024年3月13日 東京理科大学（東京都葛飾区）
- ⑤第63回谷川・ハリス賞 2024年3月13日 東京理科大学（東京都葛飾区）
- ⑥第82回功績賞 2024年3月13日 東京理科大学（東京都葛飾区）  
学術部門、技術部門
- ⑦第55回研究技能功労賞 2024年3月13日 東京理科大学（東京都葛飾区）
- ⑧第21回村上奨励賞 2024年9月18日 大阪大学（豊中市）
- ⑨第34回奨励賞 2024年9月18日 大阪大学（豊中市）  
学術部門、技術部門
- ⑩第47回技術開発賞 2024年9月18日 大阪大学（豊中市）
- ⑪第74回金属組織写真賞 2024年3月13日 東京理科大学（東京都葛飾区）  
第1部門（光学顕微鏡部門）、第2部門（走査電子顕微鏡部門）、第3部門（透過電子顕微鏡部門）、第4部門（顕微鏡関連部門）
- ⑫第4回新進論文賞 2024年9月18日 大阪大学（豊中市）  
会誌部門、欧文誌部門
- ⑬第14回まてりあ賞 2024年9月18日 大阪大学（豊中市）  
まてりあ論文賞、まてりあ啓発・教育賞
- ⑭第42回優秀ポスター賞 2024年3月  
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑮第43回優秀ポスター賞 2024年9月  
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑯第11回高校・高専学生ポスター賞 2024年3月  
(各校において贈賞)
- ⑰第12回高校・高専学生ポスター賞 2024年9月  
(各校において贈賞)
- ⑱第32回日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞 2024年3月各大学卒業時実施  
(各学科等において贈賞)
- ⑲第22回World Materials Day Award 2024年11月6日 各所属機関において贈賞  
最優秀賞、部門賞（3部門）
- ⑳第3回特別功労賞 2024年9月18日 大阪大学（豊中市）

## (4) フェロー認定

- ①フェロー認定 2024年3月13日 東京理科大学（東京都葛飾区）

## (5) 支部表彰事業

- ①北海道支部
- 支部表彰（学生） 2024年7月 北海道大学 受賞者3名
- 支部表彰（一般） 2024年7月 北海道大学 受賞者1名
- 支部表彰（学生） 2025年1月 室蘭工業大学 受賞者3名

- 支部表彰（一般） 2025年1月 室蘭工業大学 受賞者1名
- ②東北支部
  - ・未来の金属博士賞 2024年7月 東北大学 受賞者1団体（学都「仙台・宮城」サイエンス・デイにて）
  - ・最優秀ポスター賞 2024年11月 弘前大学 受賞者1名
  - ・優秀ポスター賞 2024年11月 弘前大学 受賞者 数名（発表件数により変動）  
（支部研究発表大会にて）
- ③関東支部
  - ・支部表彰 : 2024年11月 授賞場所:未定 ヤングメタラジストポスター賞 受賞者: 5名
- ④東海支部
  - ・支部表彰 2024年10月 授賞場所:材料フォーラムTOKAI 受賞者:約10名
  - ・支部功績賞・支部功労賞・支部奨励賞 2024年3月 授賞場所:支部総会 受賞者:約5名
- ⑤北陸信越支部
  - ・2024年11月 授賞場所:長野県 連合講演会学生優秀発表表彰 受賞者: 5名
  - ・2024年11月 授賞場所:長野県 支部功績賞表彰 受賞者: 1名
- ⑥中国四国支部
  - ・講演大会優秀学生賞 2024年12月 授賞場所:岡山市 受賞者: 4名
  - ・支部長賞 2024年12月 授賞場所:岡山市 受賞者: 1名
- ⑦九州支部
  - ・合同学術講演会 優秀学生表彰 18名（英語口頭発表: 2名、口頭発表: 16名）
  - ・支部功績賞・支部功労賞・支部奨励賞 2024年3月 授賞場所:支部役員会 受賞者:約6名

## 6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第5条第5号)

庶務の項に記載

## II. 庶務の計画

### 1. 特記事項

- ①セルフガバナンスに基づき、規程類の見直しを継続する。
- ②広報活動を推進する。
  - ・新ロゴマークの普及，SNSやWebを用いた情報発信等の広報活動を積極的に推進する。パンフレットやノベルティ等によるアウトリーチ活動を推進する。

### 2. 2024年度事業に関わる諸会議および諸集会

#### (1) 本会単独事業

法定機関および任意の合議機関の諸会議	開催回数
社員総会（定時1回）	1
理事会	7
広報委員会	4
会報編集委員会	6
会誌編集委員会	6
欧文誌編集委員会	6
学術図書類刊行委員会	1
講演大会委員会	4
講演大会企画委員会	2
本多記念講演委員会	1
セミナー・シンポジウム委員会	4
企画委員会	6
長期展望委員会	1

セルフガバナンス委員会	1
調査研究委員会	2
調査研究推進委員会	2
戦略推進委員会	1
科研費委員会	1
人材育成委員会	1
男女共同参画委員会	2
国際学術交流委員会	1
名誉員検討委員会	1
各種賞検討委員会	6
学会賞選考委員会	1
村上記念賞等各賞の選考委員会	15
フェロー選考委員会	1
支部会議	28

諸 集 会	開催回数
名誉員推戴式	1
各賞贈呈式	2
フェロー認定式	1
講演大会	2
セミナー・講習会	2
オンライン教育講座	4
研究会集会	14
研究グループ集会	3
支部講演会・講習会等	53
支部研究会等	17
支部見学会	5
支部表彰式	15

(2) 他学協会等連携事業

諸 会 議	開催回数
Materials Transactions共同編集委員会	4
男女共同参画合同委員会	2
奨学賞贈呈式	34
World Materials Day Award Winner授賞式	1
KIM-JIMシンポジウム	1

公益社団法人 日本金属学会  
2024年度収支予算書

2024年3月1日から2025年2月28日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度予算額	増減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
特定資産運用益	23,675,234	21,577,114	2,098,120	
特定資産受取利息	23,675,234	21,577,114	2,098,120	
退職給付引当資産	693,369	693,369	0	
減価償却引当資産	87	87	0	
刊行事業資金	6,391,000	6,391,000	0	
刊行事業拡充賛助寄付資金	1,286	1,286	0	
講演会・講習会事業資金	5,991,625	5,991,625	0	
調査・研究事業資金	4,690,464	5,290,464	-600,000	国債再投資・利率減
調査・研究事業拡充資金	6,000	6,000	0	
国際学術交流資金	1,428,000	40,800	1,387,200	国債再投資
国際会議準備資金	550	550	0	
表彰・奨励事業資金	1,050,000	1,050,000	0	
学会賞資金	231,003	210,018	20,985	
研究技術功労賞資金	98,000	70	97,930	
奨励賞・奨学賞等資金	693,450	945	692,505	国債再投資
谷川・ハリス賞資金	210,000	150	209,850	
増本量賞資金	490,000	350	489,650	
村上賞資金	1,700,400	1,900,400	-200,000	
<b>受取入会金</b>	<b>100,000</b>	<b>100,000</b>	<b>0</b>	
受取入会金	100,000	100,000	0	
<b>受取会費</b>	<b>61,860,000</b>	<b>61,910,000</b>	<b>-50,000</b>	
正員受取会費	30,500,000	31,500,000	-1,000,000	会員減
学生員受取会費	3,200,000	3,200,000	0	
維持員受取会費	27,000,000	26,000,000	1,000,000	口数増
外国会員受取会費	1,160,000	1,210,000	-50,000	
<b>事業収益</b>	<b>85,873,050</b>	<b>85,376,603</b>	<b>496,448</b>	
<b>刊行事業収益</b>	<b>45,392,050</b>	<b>45,994,603</b>	<b>-602,552</b>	
会報購読費収益	1,863,110	1,924,885	-61,775	
会誌購読費収益	3,350,400	3,735,633	-385,233	
欧文誌購読費収益	10,483,204	9,689,373	793,831	購読単価増
会報別刷等収益	3,231,250	3,263,400	-32,150	
会誌別刷・審査収益	390,000	390,000	0	
欧文誌別刷・審査収益	20,040,000	20,040,000	0	
刊行事業広告収益	4,518,000	4,860,000	-342,000	
単行本収益	516,086	1,091,312	-575,225	図書類の電子化による販売数減少
著作権料収益	1,000,000	1,000,000	0	
<b>講演会・講習会事業収益</b>	<b>40,145,000</b>	<b>38,710,000</b>	<b>1,435,000</b>	
講演大会参加費収益	26,000,000	25,950,000	50,000	
講演大会懇親会参加費収益	1,490,000	1,050,000	440,000	
金属学会シンポジウム参加費収益	600,000	600,000	0	
金属学会シンポジウム予稿集収益	10,000	10,000	0	
セミナー参加費収益	5,590,000	5,590,000	0	
セミナーテキスト収益	30,000	30,000	0	
講演会・講習会事業広告収益	4,265,000	3,320,000	945,000	昨年度広告数想定
支部講演会・講習会事業収益	1,600,000	1,600,000	0	
講演会・講習会事業委託収益	560,000	560,000	0	
<b>調査・研究事業収益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
調査・研究事業収益	0	0	0	
<b>表彰・奨励事業収益</b>	<b>336,000</b>	<b>672,000</b>	<b>-336,000</b>	
審査・投稿料収益	336,000	672,000	-336,000	
<b>受取補助金等</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>	<b>-1,000,000</b>	
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	1,000,000	-1,000,000	秋期講演大会助成金額減
<b>受取負担金</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
受取負担金	0	0	0	
<b>受取寄付金</b>	<b>25,000,000</b>	<b>20,000,000</b>	<b>5,000,000</b>	
受取寄付金	25,000,000	20,000,000	5,000,000	刊行事業拡充賛助寄付資金から振替
<b>雑収益</b>	<b>21,100</b>	<b>21,100</b>	<b>0</b>	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収益	20,000	20,000	0	
支部受取利息・雑収益	100	100	0	
<b>経常収益計</b>	<b>196,529,384</b>	<b>189,984,817</b>	<b>6,544,568</b>	

科目	当年度	前年度予算額	増減	備考
<b>(2) 経常費用</b>				
<b>事業費</b>	<b>180,602,373</b>	<b>175,246,906</b>	<b>5,355,467</b>	
<b>刊行事業費</b>	<b>78,901,349</b>	<b>78,202,897</b>	<b>698,452</b>	
給料手当	26,313,040	26,339,000	-25,960	
退職給付費用	1,771,491	1,686,500	84,991	
福利厚生費	4,372,897	4,161,461	211,436	
会報刊行費	33,465,765	33,191,646	274,119	
会誌刊行費	1,963,242	2,300,037	-336,795	
欧文誌刊行費	9,640,914	9,150,253	490,661	
学術図書類刊行費	1,374,000	1,374,000	0	
<b>講演会・講習会事業費</b>	<b>55,806,052</b>	<b>58,114,401</b>	<b>-2,308,349</b>	
給料手当	15,787,824	15,803,400	-15,576	
退職給付費用	1,062,895	1,011,900	50,995	
福利厚生費	2,623,738	2,496,877	126,861	
講演大会開催費	28,107,620	26,603,449	1,504,171	システム管理費、印刷製本代増
講演大会懇親会費	1,000,000	1,040,000	-40,000	
本多記念講演開催費	92,500	132,300	-39,800	
金属学会シンポジウム開催費	672,385	722,385	-50,000	
セミナー開催費	1,155,090	1,835,090	-680,000	開催数減
国際会議開催費	0	3,500,000	-3,500,000	国際会議開催費助成なし
支部講演会・講習会開催費	5,304,000	4,969,000	335,000	
<b>調査・研究事業費</b>	<b>37,208,351</b>	<b>30,845,299</b>	<b>6,363,052</b>	
給料手当	2,631,304	2,633,900	-2,596	
退職給付費用	177,149	168,650	8,499	
福利厚生費	437,290	416,146	21,144	
関連団体連携事業費	21,500	21,500	0	
日本工学会費	172,540	347,540	-175,000	
材料戦略委員会費	10,000	10,000	0	
科研費委員会費	1,000	1,000	0	
人材育成委員会費	140,000	140,000	0	
男女共同参画委員会費	170,000	100,000	70,000	
調査研究委員会費	2,020,568	1,979,563	41,005	
研究会費	4,500,000	4,500,000	0	
研究助成費	22,500,000	15,000,000	7,500,000	助成数5件増
企画委員会費	2,000	2,000	0	
セルフガバナンス委員会費	10,000	10,000	0	
国際学術交流委員会費	2,561,000	3,661,000	-1,100,000	Young Leader派遣数減3名→1名
支部調査・研究事業費	1,854,000	1,854,000	0	
<b>表彰・奨励事業費</b>	<b>8,686,621</b>	<b>8,084,309</b>	<b>602,312</b>	
給料手当	2,631,304	2,633,900	-2,596	
退職給付費用	177,149	168,650	8,499	
福利厚生費	437,290	416,146	21,144	
名誉員費	147,600	157,700	-10,100	
各種賞検討委員会費	720,568	679,563	41,005	
学会賞費	799,060	587,850	211,210	
技術賞費	100,600	93,550	7,050	
技術開発賞費	214,600	326,100	-111,500	
金属組織写真賞費	110,700	72,200	38,500	
研究技術功労賞費	636,700	721,900	-85,200	
功績賞費	342,100	153,250	188,850	
奨励賞・奨学賞等費	428,200	330,900	97,300	
谷川・ハリス賞費	57,300	63,700	-6,400	
増本量賞費	212,300	204,350	7,950	
まてりあ賞	28,800	5,100	23,700	
村上賞費	1,195,500	1,155,750	39,750	
論文賞費	221,500	96,350	125,150	
フェロー費	12,350	4,350	8,000	
支部表彰・奨励事業費	213,000	213,000	0	
<b>管理費</b>	<b>20,146,622</b>	<b>18,378,718</b>	<b>1,767,904</b>	
給料手当	5,262,608	5,267,800	-5,192	
退職給付費用	354,298	337,300	16,998	
福利厚生費	874,579	832,292	42,287	
会議費	870,000	700,000	170,000	
旅費交通費	2,500,000	1,000,000	1,500,000	対面出席者増
通信運搬費	1,300,000	800,000	500,000	通信・運搬料金値上げ
減価償却費	267,237	189,900	77,337	
消耗什器備品費	45,000	45,000	0	



消耗品費	2,350,000	2,350,000	0
修繕費	10,000	10,000	0
印刷製本費	500,000	500,000	0
光熱水料費	40,000	35,726	4,274
賃借料	528,000	528,000	0
保険料	12,000	12,100	-100
諸謝金	20,000	20,000	0
租税公課	2,732,000	3,200,000	-468,000
送金手数料	133,000	132,500	500
支払負担金	12,000	50,000	-38,000
システム管理費	285,900	285,900	0
委託費	1,600,000	1,582,200	17,800
雑費	450,000	500,000	-50,000
経常費用計	200,748,995	193,625,624	7,123,371
評価損益等調整前経常増減額	-4,219,611	-3,640,808	-578,803
評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	-4,219,611	-3,640,808	-578,803

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-4,219,611	-3,640,808	-578,803
一般正味財産期首残高	1,092,961,439	1,094,624,747	-1,663,308
一般正味財産期末残高	1,088,741,828	1,090,983,939	-2,242,111
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
特定資産受取利息	1,700,400	1,900,400	-200,000
未経過償還差額金の償却額	10,194	30,380	-20,186
刊行事業拡充賛助寄付金	50,000	50,000	0
一般正味財産への振替額	26,760,594	21,980,780	4,779,814
当期指定正味財産増減額	-25,000,000	-20,000,000	-5,000,000
指定正味財産期首残高	422,194,880	437,054,306	-14,859,426
指定正味財産期末残高	397,194,880	417,054,306	-19,859,426
Ⅲ. 正味財産期末残高	1,485,936,708	1,508,038,245	-22,101,537

(注)1. 小科目の対前年度予算額比50万円超の増減の理由および補足説明を備考欄に記載した。

2. 人件費の配賦率は、刊行事業50%、講演会・講習会事業30%、調査・研究事業5%、表彰・奨励事業5%、法人会計10%としている。

2024年度収支予算書内訳表

2024年3月1日から2025年2月28日まで

(単位：円)

科 目	公 益			目 的			事 業			法 人 会 計	内 部 取 引 消 去 合 計	
	刊 行 事 業	講 演 会 ・ 講 習 会 事 業	講 演 会 ・ 講 習 会 事 業	調 査 ・ 研 究 事 業	表 彰 ・ 奨 励 事 業	共 通 小 計	業 務 表 彰 ・ 奨 励 事 業	業 務 表 彰 ・ 奨 励 事 業	業 務 表 彰 ・ 奨 励 事 業			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
特定資産運用益	6,392,286	5,992,175	6,124,464	4,472,853	624,110	23,605,888	69,346	0	23,675,234			
特定資産受取利息	6,392,286	5,992,175	6,124,464	4,472,853	624,110	23,605,888	69,346	0	23,675,234			
受取人会金	0	0	0	100,000	0	100,000	0	0	100,000			
受取入会金	0	0	0	100,000	0	100,000	0	0	100,000			
受取会費	0	0	0	0	43,302,000	43,302,000	18,558,000	0	61,860,000			
正員受取会費	0	0	0	0	21,350,000	21,350,000	9,150,000	0	30,500,000			
学生員受取会費	0	0	0	0	2,240,000	2,240,000	960,000	0	3,200,000			
維持員受取会費	0	0	0	0	18,900,000	18,900,000	8,100,000	0	27,000,000			
外国会員受取会費	0	0	0	0	812,000	812,000	348,000	0	1,160,000			
事業収益	45,392,050	40,145,000	40,145,000	336,000	0	85,873,050	0	0	85,873,050			
刊行事業収益	45,392,050	0	0	0	0	45,392,050	0	0	45,392,050			
講演会・講習会事業収益	0	40,145,000	40,145,000	0	0	40,145,000	0	0	40,145,000			
調査・研究事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
表彰・奨励事業収益	0	0	0	336,000	0	336,000	0	0	336,000			
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取寄付金	25,000,000	0	0	0	21,100	25,000,000	0	0	25,000,000			
受取寄付金	25,000,000	0	0	0	0	25,000,000	0	0	25,000,000			
雑収益	0	0	0	0	21,100	21,100	0	0	21,100			
受取利息	0	0	0	0	1,000	1,000	0	0	1,000			
雑収益	0	0	0	0	20,000	20,000	0	0	20,000			
支部受取利息・雑収益	0	0	0	0	100	100	0	0	100			
経常収益計	76,784,336	46,137,175	6,124,464	4,908,853	43,947,210	177,902,038	18,627,346	0	196,529,384			
(2) 経常費用												
事業費	78,901,349	55,806,052	37,208,351	8,686,621	0	180,602,373	0	0	180,602,373			
給料手当	26,313,040	15,787,824	2,631,304	2,631,304	0	47,363,472	0	0	47,363,472			
臨時雇賃金	0	1,939,000	167,000	127,000	0	2,233,000	0	0	2,233,000			
退職給付費用	1,771,491	1,062,895	177,149	177,149	0	3,188,684	0	0	3,188,684			
福利厚生費	4,372,897	2,623,738	437,290	437,290	0	7,871,215	0	0	7,871,215			
会議費	70,500	9,765,225	1,939,000	39,000	0	11,813,725	0	0	11,813,725			
旅費交通費	0	3,134,260	6,080,000	514,000	0	9,728,260	0	0	9,728,260			
通信運搬費	8,579,820	1,449,100	188,000	28,000	0	10,244,920	0	0	10,244,920			
減価償却費	1,336,183	801,710	133,618	133,618	0	2,405,129	0	0	2,405,129			



科 目	公 益 目 的 事 業 共 同 計				法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
	刊 行 事 業 講 演 会 ・ 講 習 会 事 業 調 査 ・ 研 究 事 業 表 彰 ・ 奨 励 事 業 共 同 計	通 小 計	法 人 会 計	内 部 取 引 消 去			
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	2,117,013	9,668,877	31,376,477	3,777,768	-46,940,135	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	292,590	0	-2,992,925	-2,700,335	-4,219,611
一般正味財産期首残高	305,000,000	334,828,272	270,251,708	60,149,936	74,383,378	1,044,613,294	1,092,961,439
一般正味財産期末残高	305,000,000	334,828,272	270,544,298	60,149,936	71,390,453	1,041,912,959	1,088,741,828
II 指定正味財産増減の部							
特定資産受取利息	0	0	0	1,700,400	0	1,700,400	1,700,400
未経過償還差額の償却額	0	0	0	10,194	0	10,194	10,194
刊行事業拡充奨助寄付金	50,000	0	0	0	0	50,000	50,000
一般正味財産への振替額	25,050,000	0	0	1,710,594	0	26,760,594	26,760,594
当期指定正味財産増減額	-25,000,000	0	0	0	0	-25,000,000	-25,000,000
指定正味財産期首残高	103,700,000	0	102,000,000	216,494,880	0	422,194,880	422,194,880
指定正味財産期末残高	78,700,000	0	102,000,000	216,494,880	0	397,194,880	397,194,880
III 正味財産期末残高	383,700,000	334,828,272	372,544,298	276,644,816	71,390,453	1,439,107,839	1,485,936,708

(注)会費収益の7割を公益目的事業会計に、3割を法人会計に配賦した。

事業 年度	自	令和6年3月1日	法人コード	A020813
	至	令和7年2月28日	法人名	公益社団法人日本金属学会

### 資金調達及び設備投資の見込みについて

#### (1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業 区分	番号	借入先	金額	用途
			円	
			円	

#### (2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
事業 区分	番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
			円	
			円	